講義科目名称：情報セキュリティ論　　授業コード：B0771

授業科目の区分等：専門教育科目　経営学科　展開科目

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	３年	2	選択
担当教員			
河合　博子			
B（経営学科）	S（専門科目）	IF（情報）	202（中級科目）

授業のねらい（概要）	情報セキュリティの基礎的知識と技術、対策方法を学ぶことを通じ、情報における課題解決能力の向上を図る。現代社会において広く活用されている情報機器やネットワークについての安全性について学修を行い、ビジネス情報を取り扱う上での情報倫理、情報セキュリティマネジメントについても学修する。不正アクセス対策やウイルス対策についても、事例分析と解決提案を通じて学修する。総じていかなる情報資産を何からいかにして守るのかを理解する。
授業計画	第1回　オリエンテーション 授業目標・成績評価の方法等、学習内容の全体像をつかむ。 予習（時間）：シラバスを熟読する。（20） 復習（時間）：授業目標、進め方、成績評価の方法等を確認する。（120） 第2回　情報セキュリティとは何か 情報セキュリティの3大要素。情報資産・リスクと脅威・脆弱性。 予習（時間）：1章を読み、用語の意味を確認する（60） 復習（時間）：授業ノート・配布資料・授業内課題を見直す（120） 第3回　ユーザ認証・アクセス管理 情報を効率的に守る一連の情報技術にはどのようなものがあるのか。 予習（時間）：2章を読み、用語の意味を確認する（60） 復習（時間）：授業ノート・配布資料・授業内課題を見直す（120） 第4回　インターネット通信で情報の盗聴や改ざんを防ぐには何が有効か 暗号化・共通鍵暗号方式・公開鍵暗号方式・デジタル署名 予習（時間）：3章を読み、用語の意味を確認する（60） 復習（時間）：授業ノート・配布資料・授業内課題を見直す（120） 第5回　暗号化やデジタル署名の信憑性はどのように確保するのか 公開鍵基盤・認証局など 予習（時間）：4章を読み、用語の意味を確認する（60） 復習（時間）：授業ノート・配布資料・授業内課題を見直す（120） 第6回　事例のソリューション（1） 個人情報の漏えい被害と解決策 予習（時間）：事例を熟読し、設問に答え、解決策を準備しておく（180） 復習（時間）：事例の設問の模範解答と解説を復習し、自身で解決策を記述する（180） 第7回　不正アクセスの種類と対処法 ネットワークから不正アクセスする攻撃者に対処する方法は何か。 予習（時間）：5章を読み、用語の意味を確認する（60） 復習（時間）：授業ノート・配布資料・授業内課題を見直す（120） 第8回　ファイアウォール・侵入検知 不正な侵入者を締め出す技術と対処法は何か。 予習（時間）：5章を読み、用語の意味を確認する（60） 復習（時間）：授業ノート・配布資料・授業内課題を見直す（120） 第9回　事例のソリューション（2） 不正アクセス被害と解決策 予習（時間）：事例を熟読し、設問に答え、解決策を準備しておく（180） 復習（時間）：事例の設問の模範解答と解説を復習し、自身で解決策を記述する（180） 第10回　コンピュータウイルスと対策 ウイルス（感染・潜伏・増殖・発病の仕組み）への対処法。 予習（時間）：8章を読む。（60） 復習（時間）：授業ノート・配布資料・授業内課題を見直す（120） 第11回　事例のソリューション（3）

	電子メールとウイルス被害と解決策 予習（時間）：事例を熟読し、設問に答え、解決策を準備しておく（180） 復習（時間）：事例の設問の模範解答と解説を復習し、自身で解決策を記述する（180） 第12回　無線LANの設置と暗号化 無線LANを安全に使うには何が必要か。規格上の弱点・不正利用対策・暗号化 予習（時間）：配布資料を熟読する。（60） 復習（時間）：授業ノート・配布資料・授業内課題を見直す（120） 第13回　事例のソリューション（4） リスク分析、情報セキュリティマネジメントのPDCA 予習（時間）：事例を熟読し、設問に答え、解決策を準備しておく（180） 復習（時間）：事例の設問の模範解答と解説を復習し、自身で解決策を記述する（180） 第14回　情報セキュリティを守る法律 個人情報保護法・著作権など 予習（時間）：教科書の該当章を読む。（60） 復習（時間）：授業ノート・配布資料・授業内課題を見直す（120） 第15回　全体のまとめ 授業内課題と講義内容を振り返る。 予習（時間）：授業内課題や講義内容をふりかえり、疑問点等についてまとめる（180） 復習（時間）：教科書、授業ノートや配布資料を中心に最終試験の準備をする（240）
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	DP「商学部」の 2）情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢、 3）専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力 DP「経営学科」の 2）　経営資産（ヒト・モノ・カネ･情報）を多面的に理解し、活用できる能力。 DP関連スキルの 職業倫理観と課題解決力を身につけることができる。
到達目標	①情報セキュリティとは何か、理解し、説明できる。 ②情報技術、OS やアプリケーションの脆弱性と対策を理解し、説明できる。 ③情報セキュリティの基本的技術を理解し、説明できる。 ④情報セキュリティマネジメントのPDCAを理解し、説明できる。 ⑤リスク分析の方法を理解し、具体的な解決策を提案できる。 ⑥個人情報保護法と著作権を理解し、対応すべき行動を説明できる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	授業内課題や事例問題は、授業内に解説を行う。
履修上の注意	「情報セキュリティ論」の履修は、「情報ネットワーク論」を履修済み、または、同等程度の知識を有することが履修の前提条件となっている。
成績評価の方法・基準	①授業内課題 20%　②事例ソリューション課題　20%　③定期試験 60%
教科書	河合博子「情報セキュリティプロ～情報技術の光と影のマネジメント」創成社、2005年、2700円。ISBN-13: 978-4794422125
参考書・教材	課題プリントは配布をする。
備考	講義科目／実務家教員による授業
教員との連絡方法	基本的にMellyを使用する。